

2023年11月2日
西日本旅客鉄道株式会社

～駅のホームの安全性向上にむけて～

芦屋駅の「ホーム安全スクリーン」を使用開始します。

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を加速してまいります。また、ホーム柵・ホーム安全スクリーンの整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の2027年度の到達目標として着実に進めることで、ホームからの転落による列車とお客様の接触事故の防止を図ってまいります。

このたび、芦屋駅2番・3番のりばの「ホーム安全スクリーン」の使用開始日が決まりましたので、お知らせします。

設置箇所と使用開始日

芦屋駅

設置箇所

- ・2番のりば JR神戸線（尼崎・大阪・京都/北新地・四条畷方面）
- ・3番のりば JR神戸線（三ノ宮・姫路方面）

使用開始日

2023年11月13日（月）始発列車から※

※ 使用開始日は、工事の進捗状況により変更することがあります。

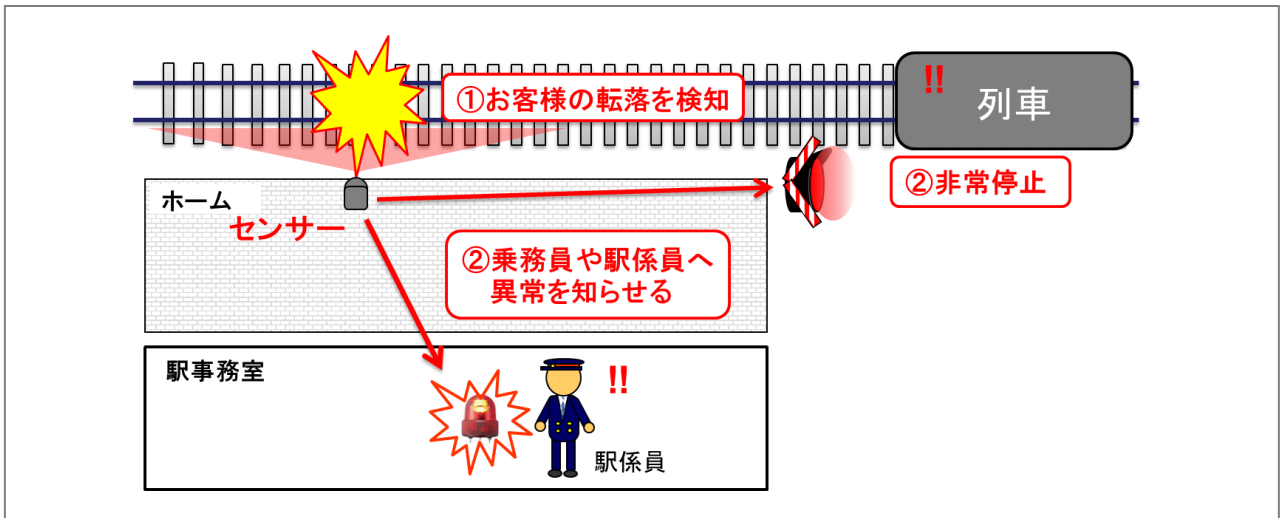


(写真は茨木駅2番のりば)

[参考]

○「ホーム安全スクリーン」の概要

ホーム上の屋根等に取り付けたセンサーにより、お客様の転落を検知して速やかに列車を止めるシステムです。



○2023年度ホーム安全スクリーン整備着手予定駅

天王寺駅	1～9番のりば	新大阪駅	1～3番のりば	須磨駅	1～4番のりば
元町駅	1～4番のりば	垂水駅	1番・2番のりば	海老江駅	1番・2番のりば
鳳駅	1～5番のりば	桂川駅	1番・2番のりば	桜ノ宮駅	1番・2番のりば
摂津富田駅	2番・3番のりば				

○ホーム安全スクリーン整備済み駅（2023年10月末時点）

茨木駅	1～4番のりば	放出駅	1～4番のりば	福島駅	1番・2番のりば
兵庫駅	1～4番のりば				

※鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

（2022年8月19日ニュースリリース）

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

※鉄道駅バリアフリー料金制度によるホーム柵、ホーム安全スクリーンの整備計画について

（2023年6月14日ニュースリリース）

https://www.westjr.co.jp/press/article/2023/06/page_22694.html

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

JR SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

